

【講演会】徳川家康は本を読んで天下を取った ※後日配信有（申込者のみ）
織田信長・豊臣秀吉と徳川家康の決定的な違いは、信長・秀吉にくらべ、家康が一生、実に多くの本を読んだ点です。子どもの頃の読書体験、大人になってからどのような本を読んだのかを追いかけ、読書が人の一生にとっていかに大切かをお話します。

【第1分科会】読む喜びを全ての人に～読書バリアフリーの推進～ ※後日配信有（申込者のみ）
専修大学文学部・野口武悟教授を招いて、『読書バリアフリー』についてお話いただきます。高齢者や障害者が今どのようなサービスを求め、図書館はどのように対応すべきか、図書館のさらなる利便性向上に向けて、みなさんと考えていきましょう。

【第2分科会】つながる信州の図書館 ※後日配信無
信州サーチや信州デジタルコモンズから構成される「信州ナレッジスクエア」、アクセシブルライブラリーを目指した市町村と県による協働の電子図書館「デジとしよ信州」など、県立長野図書館の革新的な取り組みを同館 総務企画課企画係長 槌賀基範氏にお話しいたします。

【第3分科会】言葉と歩む ※後日配信有
「大人ではなく、子どもを読者に、“ことば”を選び選び、お話を書くという仕事を通して、私はこれまで多くを学び、多くを悩み、たくさんの喜びを感じてきました。そんなところから私の考える、絵本や幼年童話の大切さについて、何かお伝えできればと思います。」 講師の言葉抜粋引用

【第4分科会】図書館がカラフルな学びの場になるために図書館員ができること ※後日配信無
5つの学校に勤務してきた学校司書である松田氏が、自身の学校図書館において、静かにする・飲食禁止等の、「当たり前」とされてきた様々な概念を払拭した、画期的な事例を紹介しつつ、自身の生徒のニーズを掘り起こし、学校図書館をカラフルな学びの場に変えるヒントを明かします。

【第5分科会】大学図書館のユニバーサルデザイン ※後日配信有（申込者のみ）
～学生・教職員のために、大学図書館ができること・おこなうべきこと～
大学には、様々な事情により、大学図書館の資料・サービス・施設を利用することが困難な学生や教職員の方がいらっしゃいます。大学図書館は、どのようなことができるのでしょうか、また、おこなうべきでしょうか。身体障害、発達障害がある方を念頭に、ユニバーサルデザインの観点から、大学図書館の在り方を考えます。

- ◇参加申込（先着順／締切り10月18日(金)）
- ★静岡県立中央図書館ウェブサイトまたは表面の二次元コードにより、スマートフォン等からふじのくに電子申請サービスにてお申込みください。
 - ★午前の全体会、午後の分科会とも座席は自由です。
 - ★分科会の申込は、第2希望まで指定してください。申込後の希望分科会の変更は受け付けません。定員超過により第2希望となる場合は、11月6日(水)までにメールで連絡します。
 - ★午前の全体会と第3分科会是要約筆記があります。
 - ★申込みにより手話通訳を配置します。
 - ★申込状況により、締切前に申込受付を終了することや御参加いただけないことがありますことを御了承ください。

- ◇後日配信
- ★今回の参加申込とは別に令和7年1月以降募集します。

◇日程

午前受付	9:30～10:00
開会式・表彰式	10:00～10:30
講演会	10:45～12:15
諸連絡	12:15～12:25
（休憩・昼食	12:25～13:45）
午後受付	13:15～13:45
分科会	13:45～15:45

- ◇会場のグランシップについて
- ★有料駐車場がありますが、当日は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関を御利用ください。
 - ★飲物は、しっかり蓋ができる容器（水筒、ペットボトル）であれば持ち込み可能です。
 - ★昼食をとる場合は、おにぎりやサンドイッチ等食べやすいものを各自で御用意ください。テーブルはありません。